

## ● セットアップをする ...Macintosh

ME5614CG3 をパソコンのカードスロットに挿入し、電話回線との接続ができれば、「ドライバ (CCL ファイル)」をパソコンにインストール (組込み) します。そのとき、ご使用のパソコンの種類に対応した事前準備が必要です。

### 留意事項

- 「ドライバ (CCL ファイル)」は、添付 CD-ROM をご使用ください。
- Mac OS のバージョンによっては、表示される画面が異なる場合があります。

## ◇ STEP1 ドライバをインストールする

本PCカードモデムの「ドライバ (CCL ファイル)」は添付CD-ROMに入っています。添付CD-ROMを使用してインストールを行ないます。

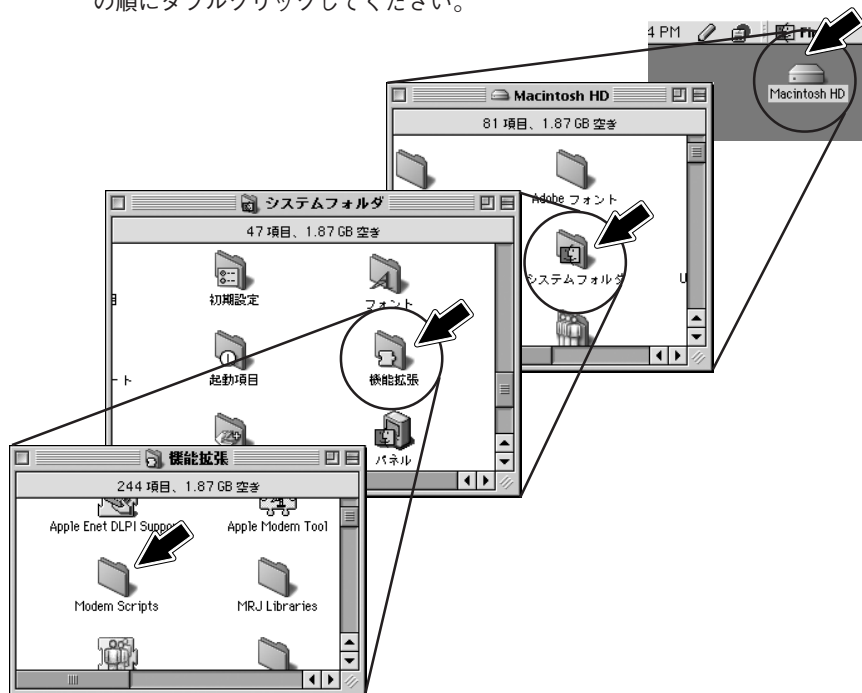
この「ドライバ (CCL ファイル)」のインストールが完了すると電話回線で使用することができます。

### 留意事項

- 本PCカードモデムに対応していない市販通信ソフトは、ご使用できません。お手持ちのパソコンに合わせて、本PCカードモデム対応の市販の通信ソフトをご使用ください。
- パソコンのレジューム機能は使わないでください。本PCカードモデムにコマンドが入らなくなります。サスペンド状態から復帰した場合、正しく通信できない場合があります。その時はパソコンを再起動してください。

**1** パソコンを起動後、添付のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。

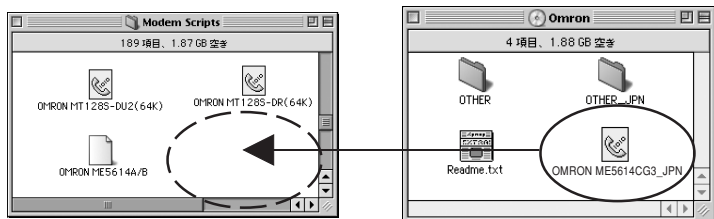
**2** 「Modem Scripts」フォルダを表示する  
 「Macintosh HD」→「システムフォルダ」→「機能拡張」→「Modem Scripts」の順にダブルクリックしてください。



**3** ドライバ (CCL ファイル) を「Modem Scripts」フォルダにコピーする  
 デスクトップ上のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。  
 使用する国のドライバ (CCL ファイル) をドラッグして、「Modem Scripts」フォルダ内にコピーしてください。使用する国によって、使用するドライバ (CCL ファイル) が異なります。P78、79を参照し、国名を間違わないようご注意ください。

## ●日本国内で使用する場合

CD-ROM内の「OMRON ME5614CG3\_JPN」をドラッグして、「Modem Scripts」フォルダ内にドロップしてください。



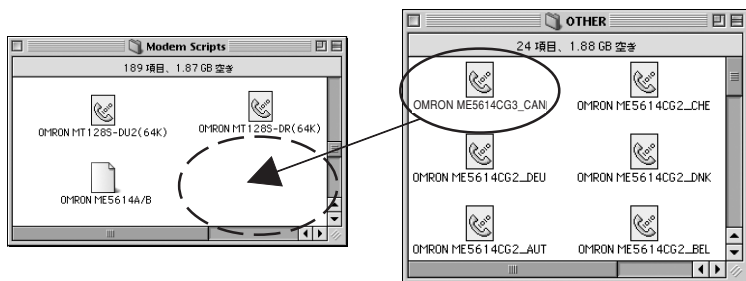
コピーが終了したら、全ての画面を閉じ、CD-ROMをパソコンから取り出してください。

## ●海外で使用する場合

CD-ROM内の「OTHER」フォルダをダブルクリックしてください。使用する国に対応したドライバ（CCLファイル）をドラッグして、「Modem Scripts」フォルダ内にドロップしてください。

海外で使用する場合の国別対応ドライバ（CCLファイル）対応表は次ページのとおりです。

下図は、カナダで使用する例です。



コピーが終了したら、全ての画面を閉じCD-ROMをパソコンから取り出してください。

ドライバ (CCL ファイル) 対応表

日本	OMRON ME5614CG3_JPN
香港	OMRON ME5614CG3_HKG
中国	OMRON ME5614CG3_CHI
台湾	OMRON ME5614CG3_TWN
シンガポール	OMRON ME5614CG3_SGP
オーストラリア	OMRON ME5614CG3_AUR
アメリカ合衆国	OMRON ME5614CG3_USA
カナダ	OMRON ME5614CG3_CAN
イギリス	OMRON ME5614CG3_GBR
フランス	OMRON ME5614CG3_FRA
ドイツ	OMRON ME5614CG3_DEU
オーストリア	OMRON ME5614CG3_AUT
イタリア	OMRON ME5614CG3_ITA
スペイン	OMRON ME5614CG3_ESP
ポルトガル	OMRON ME5614CG3_PRT
オランダ	OMRON ME5614CG3_NLD
ベルギー	OMRON ME5614CG3_BEL
ルクセンブルク	OMRON ME5614CG3_LUX
デンマーク	OMRON ME5614CG3_DNK
フィンランド	OMRON ME5614CG3_FIN
スウェーデン	OMRON ME5614CG3_SWE
ギリシャ	OMRON ME5614CG3_GRC
アイルランド	OMRON ME5614CG3_IRL
ノルウェー	OMRON ME5614CG3_NOR
ニュージーランド	OMRON ME5614CG3_NZL
アイスランド	OMRON ME5614CG3_ISL
リヒテンシュタイン	OMRON ME5614CG3_LIE
スイス	OMRON ME5614CG3_CHE

## ◆STEP2 リモートアクセス(PPP)とTCP/IPを設定する

インターネットに接続するには、Mac OSに標準装備されている「リモートアクセス」(Mac OS 8.1では、「Open Transport PPP」)と「TCP/IP」を使用します。使用する設定がされていない場合は、機能拡張マネージャで、使用するよう設定してください。Mac OSのバージョンによっては機能拡張がない場合もあります。機能拡張マネージャがない場合は、Mac OSのシステムCD-ROMから「リモートアクセス」または「Open Transport PPP」機能拡張ファイルをインストールしてください。

**1** 「アップルメニュー」→「コントロールパネル」→「リモートアクセス」を選択してください。



**2** 「名前」・「パスワード」・「電話番号」欄を入力してください。「パスワードを保存」をチェックすると、再接続の際のパスワード入力が必要ありません。設定が終了したら、「オプション」をクリックしてください。





## まめ知識

〈例〉 海外から日本のアクセスポイントにかける場合の入力方法

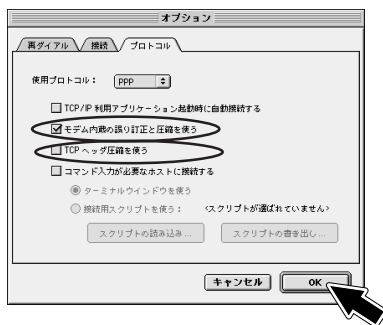
・アメリカより日本のアクセスポイント 03-1234-5678 へかける場合です。

011	81	3	12345678
国際アクセス番号	国番号 (日本)	市外局番 (最初の0を抜く)	電話番号

※ 国際アクセス番号、国番号は各国で異なります。詳しくは各国国際電話会社に直接お問い合わせください。

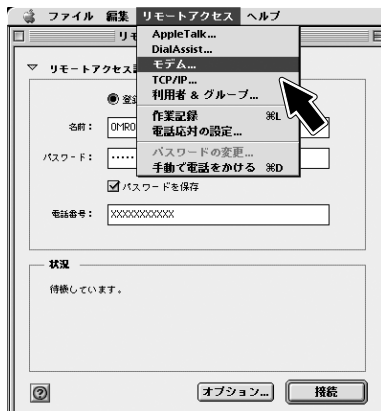
### 3 「プロトコル」タブをクリックして、以下の項目を設定してください。

- ・ 使用プロトコル ..... 「PPP」 を選択  
(Mac OS のバージョンによっては表示されません。)
- ・ モデム内蔵の誤り訂正と圧縮を使う .... チェックしてください。  
(Mac OS のバージョンによっては若干表現が異なります。)
- ・ TCP ヘッダ圧縮を使う ..... プロバイダから通知された設定にしたがってください。



設定が終了したら、「OK」をクリックしてください。

**4** デスクトップメニューバーの「リモートアクセス」→「モデム」を選択してください。

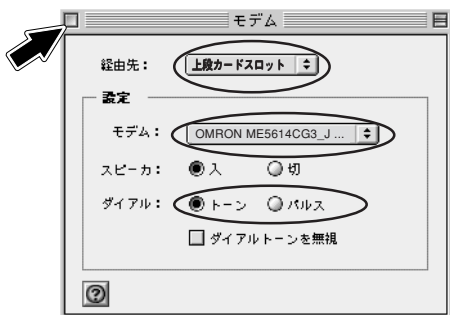



**5** 「経由先」、「モデム」、「ダイヤル」欄を設定してください。

- 経由先 ..... 「上段カードスロット」または「下段カードスロット」を選択
- モデム ..... 「OMRON ME5614CG3\_JPN」を選択

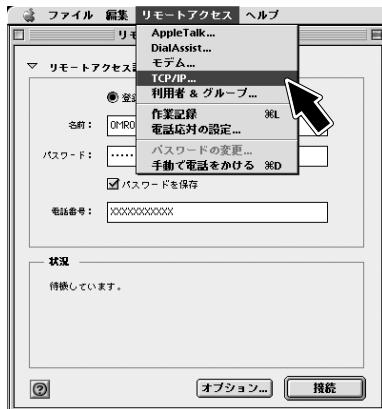
※ 使用する国にあわせて変更してください。P77でコピーしたCCLファイルが表示されます

- ダイヤル ..... ご使用の回線の種類にあわせます。



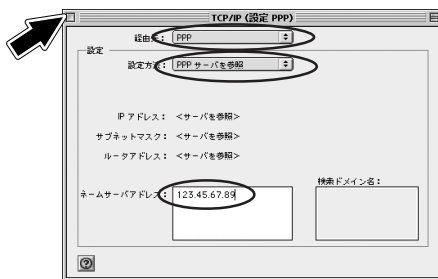
設定が終了したら、「モデム」画面左上の  をクリックして、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」とメッセージが表示されたら、「保存」をクリックしてください。

**6** デスクトップメニューバーの「リモートアクセス」→「TCP/IP」を選択してください。



**7** 「経路先」、「設定方法」、「ネームサーバアドレス」を設定してください。

- ・経路先 ..... 「PPP」を選択
- ・設定方法 ..... 「PPPサーバを参照」を選択
- ・ネームサーバアドレス .... プロバイダから与えられたDNSアドレスを入力してください。(例：123.45.67.89)



設定が終了したら、「TCP/IP (設定 PPP)」画面左上の  をクリックして、「変更内容を現在の設定に保存しますか?」とメッセージが表示されたら、「保存」をクリックしてください。

以上で、リモートアクセス、TCP/IP の設定は終了しました。

FAX送信などにご利用の方は以上でセットアップ終了です。

インターネットに接続する方は、次の【STEP 3】へお進み下さい。

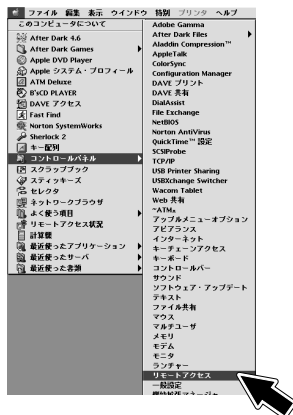


## ◇ STEP3 インターネットへ接続する

インターネットへ接続するためにはホームページを閲覧するためのブラウザソフトがインストールされている必要があります。ここではブラウザソフトとして「インターネットエクスプローラ」を使用した場合の接続例をご紹介します。

### 1 「リモートアクセス」画面を表示する

「アップルメニュー」→「コントロールパネル」→「リモートアクセス」を選択してください。

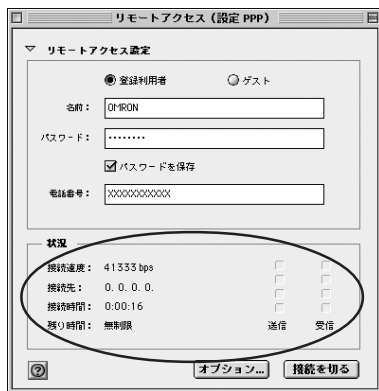


### 2 インターネットに接続する

「リモートアクセス（設定 PPP）」画面が表示されます。



「状況」欄に接続中の状況が表示されたら、インターネットに接続できました。



## 3 インターネットエクスプローラを起動する

デスクトップ上のブラウザアイコンをダブルクリックしてください。

(この例では「インターネットエクスプローラ」が起動します。

「インターネットエクスプローラ」のアドレス欄に「http://www.omron.co.jp/ped-j」と入力してください。

オムロン株式会社周辺機器事業部のホームページが表示されます。

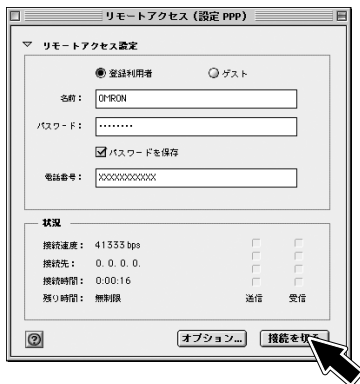


## 4 「インターネットエクスプローラ」を終了する。

「ファイル」メニューの中から「終了」をクリックしてください。

# 5 電話回線を切断します。

「リモートアクセス (設定 PPP)」画面で、「接続を切る」をクリックしてください。アクセスポイントへの電話が切断されます。



「リモートアクセス (設定 PPP)」画面が表示されていない場合は、「アップルメニュー」→「リモートアクセス状況」をクリックしてください。

## 留意事項

- 前ページの4項で「インターネットエクスプローラ」を終了しただけでは、アクセスポイントへの電話は切断されません。電話につながった状態が続き、電話料金が加算されます。必ず上記5項の電話回線の切断を実行してください。

# ● 使用国を変更する

## ◇ Country Region Selector を使い使用国を変更する

Windows®Server™2003/XP/Me/98/95/2000/NT4.0 の場合

本 PC カードモデムで使用できる国は、以下の国です。使用国選択ユーティリティを使って使用国を設定してください。使用国の初期設定は日本になっています。日本でお使いの方は、設定する必要がありません。

- Australia = オーストラリア
- Austria = オーストリア
- Belgium = ベルギー
- Canada = カナダ
- China = 中国
- Denmark = デンマーク
- Finland = フィンランド
- France = フランス
- Germany = ドイツ
- Greece = ギリシャ
- Hong Kong = 香港
- Iceland = アイスランド
- Ireland = アイルランド
- Italy = イタリア
- Japan = 日本
- Leichtenstien = リヒテンシュタイン
- Luxembourg = ルクセンブルグ
- Netherlands = オランダ
- NewZealand = ニュージーランド
- Norway = ノルウェー
- Portugal = ポルトガル
- Singapore = シンガポール
- Spain = スペイン
- Sweden = スウェーデン
- Switzerland = スイス
- Taiwan = 台湾
- United Kingdam = イギリス
- United States = アメリカ合衆国

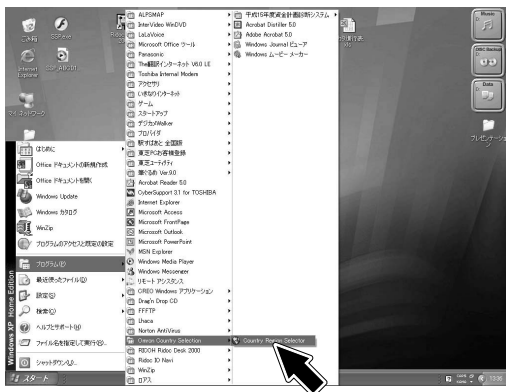
以下の手順で使用する国の選択をしてください。

### 留意事項

- 上記の国以外でのご使用については、使用認可を取得していません。従って、法律上ご使用になれません。
- 本 PC カードモデムの使用国の初期設定は日本になっています。各国の電信電話会社の電話回線の仕様は日本の NTT のものとは異なり、故障の原因となる場合があります。日本以外で使用する際は、必ず使用国選択ユーティリティを使用して使用国を設定してからお使いください。
- Windows®CE をお使いの方は、使用国選択ユーティリティ (Country Region Selector) が使えません。P91「◇使用国を手動で設定する」の項に進んでください。
- Macintosh OS をお使いの方は、使用国選択ユーティリティ (Country Region Selector) が使えません。使用する国によってセットアップ方法が異なります。P76～をご参照ください。

### 7 使用国選択ユーティリティの起動

「スタート」→「プログラム」→「Omron」→「Country Region Selector」(Windows®Me/98/95の場合は「スタート」→「プログラム」→「Omron」→「Country Selector」)アイコンをクリックしてください。使用国選択ユーティリティが起動し、「Country Region Selector」画面が表示されます。




### 留意事項

- Country Region Selectorはドライバのインストールを行うと自動的にインストールされます。Country Region Selectorがない場合はドライバのインストールを再度行ってください。


## 使用国を変更する

### 2 カードモデムの選択

カードモデムの欄の  ボタンをクリックし、プルダウンメニューから「OMRON ME5614CG3」を選択してください。



### 3 使用国の選択

使用国選択の欄の  ボタンをクリックし、使用する国（例、United Kingdom = イギリス）を選択した後、「Apply」をクリックしてください。



## 使用国を変更する

---

- 4** 使用国選択の欄に使用する国が表示されていることを確認した後、「OK」をクリックしてください。  
以上で、使用国の選択が完了しました。



## 使用国を変更する

### ◇使用国を手動で設定する

#### Windows®CE の場合

Windows®CE をお使いの方は、以下の手順に従って、本PCカードモデムをご使用になる国を設定してください。

#### 留意事項

- 本PCカードモデムの使用国の初期設定は日本になっています。各国の電信電話会社の電話回線の仕様は日本のNTTのものとは異なり、故障の原因となる場合があります。必ず以下の手順に従って、使用国を設定してからお使いください。
- P87に記載されている国以外での使用については、使用認可を取得していません。従って、法律上ご使用になれません。

#### 留意事項

- 以下の手順に進む前にお持ちのモバイルPC機（Windows®CE機）に本PCカードモデムをインストールする必要があります。初めて本PCカードモデムをご使用になる場合は、P66またはP70●セットアップする... Windows®CEに従って、◇STEP2まで完了しておいてください。

**1** 「スタート」→「プログラム」→「通信」→「リモートネットワーク」の順にタップしてください。

**2** P67の3またはP71の4で作成した接続名(例：OMRON)をAltキーを押しながらタップし、「プロパティ」をタップしてください。

**3** 「モデムの選択」の欄で「OMRON\_ME5614CG3」を選んで「モデムの設定」をタップしてください。



## 使用国を変更する

---

**4** 「呼び出しのオプション」タブまたは「ダイヤルのオプション」タブをタップして、「追加設定」の欄に「AT+GCI=XX」を入力して、「OK」をタップしてください。

※ XX は、本 PC カードモデムをご使用になる国別の数字になります。国別の数字については、P99ATコマンドリストを参照し、各自設定してください。

※ 日本で使用する場合は、特に設定する必要はありません。初期値が「日本」になっています。

※ 追加設定欄へ既に入力しているコマンドがある場合は、そのコマンドの前に「AT+GCI=XX」を入力してください。

例:使用国をアメリカとした場合 「AT+GCI=B5 W2」

今回追加入力 既に入力されていたコマンド

**5** 「OK」をタップし、次の画面でも「OK」をタップして元の画面に戻ってください。以上で使用国の設定を完了しました。

Windows®Powered Pocket PC/Pocket PC 2002 の場合は P72 の 10 の画面で「モデムの追加設定」欄に、「AT+CG=XX」を入力してください。

# ● ATコマンドの基本

ATコマンドは米国ヘイズ社によって開発されたモデム用コマンドで、AT○○○とパソコンより入力することにより、通信することができます。

## ■ ATコマンドとは

ATコマンドでは、端末がモデムに送る命令を「コマンド」、命令に対してモデムから端末に返される文字列を「リザルトコード」と呼びます。ATコマンドは必ずATという文字で始め、最後にリターンコードを入力します。(A/を除く)。ATに続くコマンドは1行に複数入力することができます。大文字(AT)と小文字(at)の両方が使えます。(ただし、大文字と小文字の混在はできません)

ATコマンドのフォーマットは次のようになります。

A	T	コマンド	パラメータ	コマンド	パラメータ	コマンド	…	CR	LF
---	---	------	-------	------	-------	------	---	----	----

最大37 (ATを含め39) 文字

※LFコードは省略可能

リザルトコードには単語と数字の形式があり、次のようなフォーマットになります。

CR	LF	リザルトコード (単語)	CR	LF
----	----	--------------	----	----

リザルトコード (数字)	CR
--------------	----

## ■ データフォーマットの自動認識

ATコマンドでは、モデムは端末(パソコン、ワープロ等)から送られてくるコマンド先頭のATの2文字を検出することにより、端末の通信速度とデータフォーマットを自動的に認識します。

認識したデータフォーマットは不揮発メモリに保存可能です。

【例】 AT ↵

## 留意事項

- 本モデムでは、通信速度、データフォーマットの初期値は「通信速度＝9600bps」、「データ長＝8ビット」、「パリティ＝なし」になっています。キャラクタ長は10ビット固定です。不揮発メモリに保存する場合は、AT&W0もしくはAT&W1 ↵と入力します。

## ■ コマンドリスト

### ● AT コマンド

● nは数値、mmは文字列を示します。

● パラメータ解説のデフォルト値は\*、保存可能コマンド・レジスタは#で示しています。

コマンド (nは数値、 mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
A/	直前のコマンド再実行		
ATA	強制着信		
# ATBn	通信規格選択：ITU-T規格、BELL規格の選択	*0 1	ITU-T規格 BELL規格
ATDmm	ダイヤル モデムから電話回線にダイヤル信号を送ります。	0~9 *、# T P S=n  W @ , ; L	電話番号 DTMF信号(トーンダイヤルのみ) トーン(フック)式に変更 パルス(ダイヤル)式に変更 AT&Znコマンドでメモリ内に記憶している電話番号をダイヤルします。 nは0~3まで使用可能 ダイヤルトーンの検出 無音の検出 ホース(S8レジスタで設定) ダイヤル後コマンドモードに戻る 直前にダイヤルした番号に再ダイヤル
# ATEn	コマンドエコー モデムに入力した文字列を端末にエコーバックさせます。	0 *1	なし あり
# ATHn	回線制御 電話回線のオン、オフ制御	0 1	オフフック オフフック
ATI	ファクトID表示	0 1 2 3	プロダクトコード表示 ROMチェックサム表示 ROMチェックサム検証 型式、バージョン情報

## AT コマンドの基本

	コマンド (nは数値、 mmlは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
#	ATMn	モニタスピーカ動作設定	0 *1 2 3	常時オフ 通信開始まで常時オン 常時オン ダイヤリング時オフ、それ以外はパラメータと同じ動作
	ATOn	オンラインモードへの復帰、強制リレイン: エスケープモードからの動作を設定します。	0 1	オンラインモードへの復帰 強制リレインによるオンラインモードへの復帰
#	ATP	ハルス(ダイヤル)設定		
#	ATQn	リガムコート有無の設定	*0 1	あり なし
	ATSn=X ATSn?	Sレジスタの設定 Sレジスタの設定、参照を行います。詳細はSレジスタ一覧を参照してください。	n X ?	レジスタの番号 設定値 内容問い合わせ
#	ATT	トン(フッシュ)設定		
#	ATVn	リガムコート表示形式コマンドを入力したときに、その実行結果を知らせる形式です。	0 *1	数字形式 単語形式
#	ATWn	接続完了時の通信速度表示形式の設定	0 *1 2	端末ーモデム間表示 モデムーモデム間速度、エラー訂正プロトコル、データ圧縮手順表示 モデムーモデム間速度表示
#	ATXn	通信速度表示、ビジー/ダイヤルトンの検出 接続完了時の通信速度表示の有無です。また、ダイヤルトン(発信音)、ビジー/ダイヤルトン(話中音)の検出も行います。	0 *1 2 3 4	通信速度表示なし、ビジー/ダイヤルトンの検出なし 通信速度表示あり、ビジー/ダイヤルトンの検出なし 通信速度表示あり、ダイヤルトン検出あり 通信速度表示あり、ビジー/ダイヤルトン検出あり 通信速度表示あり、ビジー/ダイヤルトン検出あり

## AT コマンドの基本

	コマンド (nは数値、 mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
	ATZn	ソフトウェアリセット	0 1	現在値エリアリセット (不揮発性メモリの値を読み込む) 現在値エリアと不揮発性メモリアreaのリセット(工場出荷値を読み込む)
#	AT&Cn	CD信号制御	0 *1	常時ON 相手端末のキャリアに従う
#	AT&Dn	ER信号制御	0 1 *2 3	常時ON ON→OFFでエスケープモード* ON→OFFで回線切断 ON→OFFでソフトウェアリセット
	AT&F	現在地エリアの内容を工場出荷の設定に戻す。		
#	AT&Kn	フロー制御	0 *3 4 5	フロー制御なし RS/CSフロー制御 XON/XOFFフロー制御 トランスパレントなXON/XOFFフロー制御
#	AT&Pn	ハルス(ダイヤル)速度設定	*1 3	10pps 20pps
#	AT&Sn	DR信号制御	*0 1	常時ON シーケンスに従う
	AT&V	端末の状態表示		
	AT&Wn	現在地エリアの設定値を不揮発性メモリに保存	0 1	プロファイル0として保存 プロファイル1として保存
#	AT&Y	電源オン時の設定	*0 1	電源オン時プロファイル0設定をロード 電源オン時プロファイル1設定をロード
	AT&Zn=x	メモリアル登録 電話番号を不揮発性メモリに記憶するコマンド*です。	n x	0~3 電話番号 (30桁まで登録可能)

# AT コマンドの基本

コマンド (nは数値、 mmlは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
AT¥Bn	ブレーク送信 このコマンドは「スケープモード」で実行します。非エラー訂正時には、nで指定される長さのブレークを送出します。エラー訂正時には、nの値に関係なく固定長(300ミリ秒)のブレークを送出します。	1~9	n×100msのブレークを送出 (初期値：n=3)
# AT¥Kn	ブレーク信号制御 ①モデムがDTEからブレーク信号を受信したとき  ②モデムがAT¥Bnコマンドを受信したとき  ③非エラー訂正接続中に相手モデムからブレーク信号を受信したとき	0、2、4  1 3 *5  0、1 2、3 4、*5  0、1 2、3 4、*5	ブレークを相手モデムに送信せず、「スケープモード」に入る 送受信バッファをクリアし、ブレーク信号を送出 バッファ内のデータを飛び越し、信号送出 バッファ内のデータと同様にブレーク信号をバッファリング 送受信バッファをクリアして、信号送出 バッファ内のデータを飛び越し、信号送出 バッファ内のデータと同様にブレーク信号をバッファリング 送受信バッファをクリアして、ブレーク信号を送出 バッファ内のデータを飛び越し、信号送出 バッファ内のデータと同様にブレーク信号をバッファリング
# AT¥Nn	エラー訂正設定	0 1 2 *3 4 5	ノーマルモード ダイレクトモード V.42リリアブアルオンリーモード V.42オートリリアブアルモード LAPMリリアブアルモード MNPリリアブアルモード
# AT%Cn	データ圧縮設定 エラー訂正設定時のデータ圧縮の方式です。	0 1 2 *3	データ圧縮なし MNPクラス5 ITU-T V.42bis ITU-T V.42bis、MNP5自動設定
# AT%En	自動リトレイン設定 電話回線の状態が悪くなったときに、自動的に回線を切らないで再接続動作をします。	0 1 *2	なし あり(同一速度で再接続) あり(フォールバック・フォールオーバーあり)

## AT コマンドの基本

コマンド (nは数値、 mmは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
# AT+MS =a,b,c,d,e,f	通信規格の選択(a,b,c,d,e,f はパラメータ数値をいれま す。)	a= V21 V22 V22B V32 V32B  V34  * V90  K56	300bps (V.21) 1200 bps(V.22) 1200,2400bps(V.22bis) 4800,9600bps(V.32) 4800,7200,9600,12000, 14400bps(V.32bis) 2400,4800,7200,9600,12000,14400, 16800,19200,21600,24000,26400, 28800,31200,33600bps(V.34) 28000,29333,30667,32000,33333, 34667,36000,37333,38667,40000, 41333,42667,45333,46667,48000, 49333,50667,52000,53333,54667, 56000bps(V.90) 32000,34000,36000,38000,40000, 42000,44000,46000,48000,50000. 52000,54000,56000bps(K56flex)
		B103 B212	300bps (Bell 103) 1200bps (Bell 212A)
		b= 0 * 1	自動速度応答なし 自動速度応答あり
		c= 300 ~33600	送信最低通信速度を指定 (初期値)=300bps
		d= 300 ~33600	送信最高通信速度を指定 (初期値)=33600bps
		e= 300 ~56000	受信最低通信速度を指定 (初期値)=300bps
		f= 300 ~56000	受信最高通信速度を指定 (初期値)=56000bps

## AT コマンドの基本

コマンド (nは数値、 mmlは文字列)	機能概略	パラメータ 初期値	パラメータの意味(参考)
AT+GCI=n	使用国を選択する	09 0A 0F 20 26 31 3C 3D 42 46 50 52 57 59 *00 68 69 7B 7E 82 8B 9C A0 A5 A6 FE B4 B5	オーストラリア オーストリア ベルギー カナダ 中国 デンマーク フィンランド フランス ドイツ ギリシャ 香港 アイスランド アイルランド イタリア 日本 リヒテンシュタイン ルクセンブルグ オランダ ニュージーランド ノルウェー ポルトガル シンガポール スペイン スウェーデン スイス 台湾 イギリス アメリカ
AT+GCI	現パラメータを表示	—	—



## ●リザルトコード

ATコマンドを入力したとき、その実行結果を知らせるコードです。

数字形式	単語形式	意味
0	OK	正常実行
1	CONNECT	接続完了
2	RING	呼び出し検出
3	NO CARRIER	回線切断
4	ERROR	コマンドエラー
5	CONNECT 1200	1200bps接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーン未検出
7	BUSY	話中音検出
8	NO ANSWER	無音未検出
10	CONNECT 2400	2400bps接続
11	CONNECT 4800	4800bps接続
12	CONNECT 9600	9600bps接続
13	CONNECT 7200	7200bps接続
14	CONNECT 12000	12000bps接続
15	CONNECT 14400	14400bps接続
16	CONNECT 19200	19200bps接続
17	CONNECT 38400	38400bps接続
18	CONNECT 57600	57600bps接続
19	CONNECT 115200	115200bps接続
20	CONNECT 230400	230400bps接続
24	DELAYED	リダイヤル制限中
32	BLACKLISTED	リダイヤル制限中
33	FAX	FAX通信
35	DATA	DATA通信
40	+MRR:300	300bpsキャリア検出
46	+MRR:1200	1200bpsキャリア検出
47	+MRR:2400	2400bpsキャリア検出
48	+MRR:4800	4800bpsキャリア検出
49	+MRR:7200	7200bpsキャリア検出
50	+MRR:9600	9600bpsキャリア検出
51	+MRR:12000	12000bpsキャリア検出
52	+MRR:14400	14400bpsキャリア検出
53	+MRR:16800	16800bpsキャリア検出
54	+MRR:19200	19200bpsキャリア検出
55	+MRR:21600	21600bpsキャリア検出
56	+MRR:24000	24000bpsキャリア検出
57	+MRR:26400	26400bpsキャリア検出
58	+MRR:28800	28800bpsキャリア検出
59	CONNECT 16800	16800bps接続
61	CONNECT 21600	21600bps接続

## AT コマンドの基本

数字形式	単語形式	意味
62	CONNECT 24000	24000bps接続
63	CONNECT 26400	26400bps接続
64	CONNECT 28800	28800bps接続
66	+DR:ALT	MNP5接続
67	+DR:V42B	V.42bis接続
69	+DR:NONE	非圧縮モード接続
70	+ER:NONE	非エラー訂正モード接続
77	+ER:LAPM	LAPM接続
78	+MRR:31200	31200bpsキャリア検出
79	+MRR:33600	33600bpsキャリア検出
80	+ER:ALT	MNP4接続
84	CONNECT 33600	33600bps接続
91	CONNECT 31200	31200bps接続
134	+MCR:B103	BELL 103で接続
135	+MCR:B212	BELL 212Aで接続
136	+MCR:V21	ITU-T V21で接続
137	+MCR:V22	ITU-T V22で接続
138	+MCR:V22B	ITU-T V22bisで接続
140	+MCR:V32	ITU-T V32で接続
141	+MCR:V32B	ITU-T V32bisで接続
142	+MCR:V34	ITU-T V34で接続
144	+MCR:K56	K56flexで接続
145	+MCR:V90	ITU-T V90で接続
150	+MRR: 32000	32000bpsキャリア検出
151	+MRR: 34000	34000bpsキャリア検出
152	+MRR: 36000	36000bpsキャリア検出
153	+MRR: 38000	38000bpsキャリア検出
154	+MRR: 40000	40000bpsキャリア検出
155	+MRR: 42000	42000bpsキャリア検出
156	+MRR: 44000	44000bpsキャリア検出
157	+MRR: 46000	46000bpsキャリア検出
158	+MRR: 48000	48000bpsキャリア検出
159	+MRR: 50000	50000bpsキャリア検出
160	+MRR: 52000	52000bpsキャリア検出
161	+MRR: 54000	54000bpsキャリア検出
162	+MRR: 56000	56000bpsキャリア検出
165	CONNECT 32000	32000bps接続
166	CONNECT 34000	34000bps接続
167	CONNECT 36000	36000bps接続
168	CONNECT 38000	38000bps接続
169	CONNECT 40000	40000bps接続
170	CONNECT 42000	42000bps接続

## AT コマンドの基本

数字形式	単語形式	意味
171	CONNECT 44000	44000bps接続
172	CONNECT 46000	46000bps接続
173	CONNECT 48000	48000bps接続
174	CONNECT 50000	50000bps接続
175	CONNECT 52000	52000bps接続
176	CONNECT 54000	54000bps接続
177	CONNECT 56000	56000bps接続
180	CONNECT 28000	28800bps接続
181	CONNECT 29333	29333bps接続
182	CONNECT 30667	30667bps接続
183	CONNECT 33333	33333bps接続
184	CONNECT 34667	34667bps接続
185	CONNECT 37333	37333bps接続
186	CONNECT 38667	38667bps接続
187	CONNECT 41333	41333bps接続
188	CONNECT 42667	42667bps接続
189	CONNECT 45333	45333bps接続
190	CONNECT 46667	46667bps接続
191	CONNECT 49333	49333bps接続
192	CONNECT 50667	50667bps接続
193	CONNECT 53333	53333bps接続
194	CONNECT 54667	54667bps接続
195	+MRR:28000	28000bpsキャリア検出
196	+MRR:29333	29333bpsキャリア検出
197	+MRR:30667	30667bpsキャリア検出
198	+MRR:33333	33333bpsキャリア検出
199	+MRR:34667	34667bpsキャリア検出
200	+MRR:37333	37333bpsキャリア検出
201	+MRR:38667	38667bpsキャリア検出
202	+MRR:41333	41333bpsキャリア検出
203	+MRR:42667	42667bpsキャリア検出
204	+MRR:45333	45333bpsキャリア検出
205	+MRR:46667	46667bpsキャリア検出
206	+MRR:49333	49333bpsキャリア検出
207	+MRR:50667	50667bpsキャリア検出
208	+MRR:53333	53333bpsキャリア検出
209	+MRR:54667	54667bpsキャリア検出
+F4	FCERROR	

注：+MRR:の後には、以下の通り送信キャリア速度と受信キャリア速度が表示されます。  
+MRR:X,Y(X:送信キャリア速度、Y:受信キャリア速度)

## ● S レジスタ

レジスタ	設定値(初期値)	機能
S0	0 自動着信なし 1~55 (0)	自動着信/着信呼出回数の設定 自動着信するまでの呼出回数を設定します。 (単位:回)
S1	0~255	着信呼出回数のカウント モデムが呼出信号を受信したとき、その受信回数をカウントします。 呼出信号を8秒間受信しないと0になります。(読み出し専用)
S2	0~127 (43)	エスケープコードの設定 データ通信中、一時的にコマンド入力ができる状態にするためのエスケープコードを設定します。(10進のアスキーコード)
S3	0~127 (13)	CRコードの設定 コマンドの最後に入力するキャリッジリターンコードを設定します。 (10進のアスキーコード)
S4	0~127 (10)	LFコードの設定 ラインフィードコードを設定します。画面を1行スクロール(改行)させるためのコードを設定します。(10進のアスキーコード)
S5	0~32, 127 (8)	BSコードの設定 バックスペースコードを設定します。コマンドの入力ミスを訂正するためのコードを設定します。(10進のアスキーコード)
S6	2-255(4)	ATX0、X1、X3設定時のダイヤルまでの待ち時間設定 ATX0、X1、X3設定時には、オフフックからダイヤルまでの待ち時間を設定します。(単位:秒)
S7	50固定(設定不可)	オフフック制限タイム 通信開始までの待ち時間 オフフックから、このレジスタで設定された時間までに相手モデムのキャリアが検出されないと、“NO CARRIER”を表示し、オンフックします。
S8	2~255 (2)	ダイヤルボース時間 ダイヤルオプションの、(カンマ)でダイヤル信号送出を休止する時間を設定します。(単位:秒)
S9	1~255 (12)	キャリア認識時間 このレジスタで設定した時間以外相手モデムからのキャリアが検出できるとき、接続状態になります。(単位:1/10秒)
S10	1~255 (14)	キャリア許容断時間 通信中にこのレジスタで設定した時間以上、相手モデムからキャリアがなかったとき、回線を切断します。このレジスタを255に設定した場合は、回線を切断しません。通信中によく回線が切れるときは、このレジスタの設定値を大きくしてください。(単位:1/10秒)
S12	20~255 (50)	ガードタイム エスケープコードの前後のデータ送信を行わない時間を設定します。 (単位:1/50秒)
S25	0~255 (5)	ER許容断時間 通信中に、このレジスタで設定された時間以上、ER信号がOFFになったとき、回線を切断します。(単位:1/100秒)
S30	0: アボートタイムなし 1~255 (0)	アボートタイム データの送信または受信が一定時間以上ないときに回線を切断するアボートタイムの時間を設定します。エラー訂正モードでは、データを送信または受信したときにこのタイムがリセットされます。また、非エラー訂正モードでは、データを送信したときにこのタイムがリセットされます。 (単位:10秒)



## ●お困りのときには

### ◇ PCMCIA カードスロットタイプの CD-ROM ドライブをご使用の場合

PCMCIA カードスロットタイプの CD-ROM ドライブをご使用の場合、本 PC カードモデムを CD-ROM ドライブと同時に使用することができません。

以下を参照しインストールを行ってください。

#### ● Windows®Server™ 2003/XP の場合

- 1 「マイコンピュータ」→「CD-ROM ドライブ」の順にダブルクリックしてください。
- 2 「Win2000XP」フォルダをデスクトップにドラッグ&ドロップしてコピーします。
- 3 デスクトップにコピーした「Win2000XP」フォルダをダブルクリックしてください。
- 4 「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。
- 5 「OMRON Country Region Selection InstallShield ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。
- 6 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら「インストール」をクリックしてください。
- 7 「InstallShield ウィザードを完了しました」が表示されます。「完了」をクリックしてください。
- 8 本 PC カードモデムをパソコンのカードスロットへ挿入してください。「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

**9** 「次の場所で最適なドライバを検索する」にチェックします。  
「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索」のチェックマークを外し、「次の場所を含める」にチェックしてください。

**10** 「参照」ボタンをクリックし、「Win2000XP」フォルダを選択して「OK」をクリックします。元の画面に戻りましたら「次へ」をクリックします。

**11** ドライバの一覧が出ます。  
以下に該当している項目を選択して「次へ」をクリックしてください。

説明→「OMRON ME5614CG3 Fax+Data Modem」

場所→「documents and settings¥(アカウント名)

¥デスクトップ¥Win2000XP¥mdmomrcg3\_2kxp.inf」

**12** 「Windows ログテストに合格していません。」と表示されますが、特に問題はありませんので「続行」をクリックしてください。

**13** 「完了」をクリックしてください。

この後の操作は、P28 の 10 以降に従って進めてください。

## ● Windows®2000 の場合

**1** 「マイコンピュータ」→「CD-ROM ドライブ」の順にダブルクリックしてください。

**2** 「Win2000XP」フォルダをデスクトップにドラッグ&ドロップしてコピーします。

**3** デスクトップにコピーした「Win2000XP」フォルダをダブルクリックしてください。

**4** 「SETUP.exe」をダブルクリックしてください。

**5** 「OMRON Country Region Selection InstallShield ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

## お困りのときには PCMCIA カードスロットタイプの CD-ROM ドライブをご使用の場合

- 6 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら「インストール」をクリックしてください。
- 7 「InstallShield ウィザードを完了しました」が表示されます。「完了」をクリックしてください。
- 8 本 PC カードモデムをパソコンのカードスロットへ挿入してください。ドライバのインストールが開始されます。
- 9 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示される場合は「はい」をクリックしてください。

この後の操作は、P34 の 7 以降に従って進めてください。

### ● Windows® Me/98/95 の場合

- 1 「マイコンピュータ」→「CD-ROM ドライブ」の順にダブルクリックしてください。
- 2 「Win9XNT」フォルダをデスクトップにドラッグ&ドロップしてコピーします。
- 3 デスクトップの「Win9XNT」フォルダを指定してインストールを進めてください。



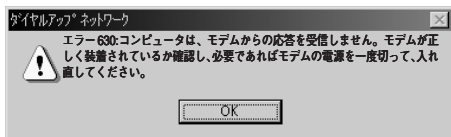
## ◇ Windows®Server™ 2003/XP/2000 の場合

インターネットへ接続できない、または接続後のトラブルが発生したときは、以下をご覧ください。設定を確認してください。

### 1 アクセスポイントの電話番号を誤って入力していませんか？

**対策 1** 接続先の電話番号に間違いがないかご確認ください。また、アクセスポイントの電話番号をかえてみてください。

### 2 次の画面が表示され、接続できない

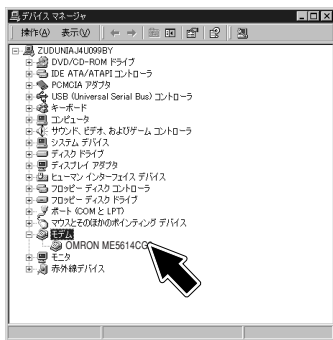


#### 確認 1 「モデムの照会」が開けますか？

確認方法は、Windows®Server™ 2003/XP (P27～29参照) Windows®2000 (P34～35参照) をご覧ください。  
開けない場合は、確認2へ進んでください。

#### 確認 2 モデムが正常にインストールされていますか？

- ① 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックしてください。
- ② 「システム」をダブルクリックして、「ハードウェア」、「デバイスマネージャ」をクリックして開いてください。  
次のような画面が表示されていますか？



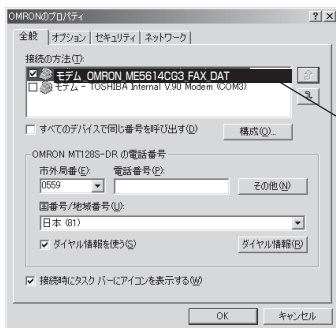
### 上図のように正しく表示されない場合

「! OMRON...」または「? その他のデバイス」、「! 不明なデバイス」と表示された場合は、選択して削除してください。

その後、P124～133を参照し、ドライバをアンインストールしてください。  
その後再インストールします。

#### 確認3 他のモデムを選択していませんか？

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」→「接続するプロバイダのアイコン」を右クリックして「プロパティ」をクリックしてください。



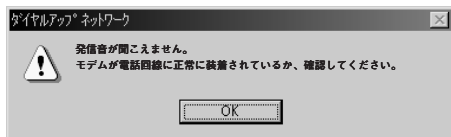
正しく機種名が選択(チェック)されているか、ご確認ください。

#### 確認4 モデムがPCカードスロットに正しく挿入されていますか？

パソコンを終了し、PCカードを抜いて再度奥まで差し込み直した後、パソコンを起動してください。

カードスロットが複数ある場合は別スロットに差しかえてください。

## 3 次の画面が表示され、接続できない



#### 対策1 回線は正しく接続されていますか？

モジュラーケーブルが接続用コネクタに接続されているか確認してください。

#### 対策2 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「電話とモデムのオプション」→「モデム」→「プロパティ」→「モデム」タブ→「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずしてください。

**対策3** 外線発信するとき、0発信や9発信が必要な回線ですか？  
該当する場合は、以下をお試してください。

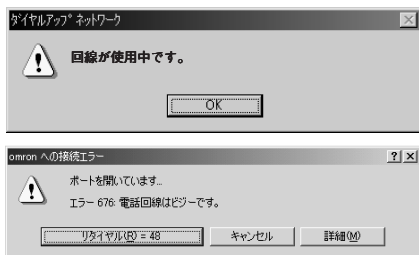
「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」(ネットワークとダイヤルアップ接続)をダブルクリックしてください。ご利用の接続アイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックしてください。

全般タブ内の「ダイヤル情報を使う」のチェックをはずします。  
電話番号欄に、外線番号を含めて電話番号を入力します。

例) 0発信の場合  
0,1234567890

**対策4** 2-確認3を行ってください。

## 4 次の画面が表示され、接続できない



**対策1** 回線が混んでいませんか？

アクセスポイントの回線が混んでいることが考えられます。しばらくしてもう一度、接続してみるかアクセスポイント先の電話番号を変更してみてください。

**対策2** お使いの電話回線の種類

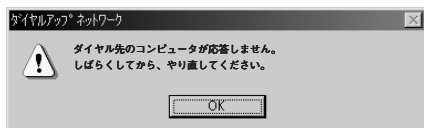
(トーン/パルス) は間違っていますか？

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」→「接続するプロバイダのアイコン」を右クリックし「全般」→「ダイヤル情報」→「編集」→「ダイヤル方法」を確認してください。

**対策3** 自動発信規制がかかっていませんか？

本製品では、話中の場合の同じ電話番号への発信は3分間で2回以内に制限されます。最初の発信から3分待つか、別の電話番号へ発信してください。

## 5 次の画面が表示され、接続できない



### 確認 1 電話番号の入力が間違っていないですか？

電話番号が 1 桁抜けている、入力が間違っているなど誤りがないか確認してください。

問題ない場合は、以下の設定に変更してください。

「マイコンピュータ」(→「設定」)→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」(ネットワークとダイヤルアップ接続)をダブルクリックしてください。

ご利用の接続アイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックしてください。

「全般 (情報)」タブ内の「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックマークを外します。

「電話番号」欄に、市外局番を含め電話番号を入力してください。

！ホテルなどでのご利用で、0 発信や 9 発信が必要な回線の場合は、電話番号欄に、外線番号を含めて電話番号を入力してください。

例) 0 発信の場合

0,,,1234567890

※「,」は、外線番号 (0 や 9) を押してから外線に切り替わる (「ツー」音が聞こえる) まで時間をおくために付けています。

「,」1 個で 2 秒です。電話回線の環境によってタイミングが合わず、接続できない場合があります。外線への切り替わりが遅い場合は、「,」の数を増やしてみてください。

### 確認 2 ホテルなどでのご利用で、0 発信や 9 発信が必要な回線をお使いですか？

「スタート」→ (「設定」) → 「コントロールパネル」→ 「電話とモデムのオプション」の順にダブルクリックしてください。「モデム」タブをクリックします。

「ME5614CG3」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

「モデム」タブをクリックします。

「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずしてください。

確認3 アクセスポイントが混雑している、工事中/廃止されていることが考えられます。

別のアクセスポイントに変更して、接続をお試しください。

確認4 プロバイダの通信規格とモデムがあていない可能性があります。ME5614CG3は、初期の設定が「V.90」という規格の設定になっています。「V.34」という規格に変更してみてください。

#### 【変更方法】

「スタート」→（「設定」）→「コントロールパネル」→「電話とモデムのオプション」の順に開きます。

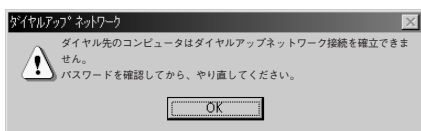
「モデム」タブをクリックします。

「ME5614CG3」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

「詳細設定」タブをクリックします。

「追加設定」の「追加の初期化コマンド」欄に「+MS=V34」と入力し、「OK」をクリックします。

## 6 次の画面が表示され、接続できない



対策1 パスワードが間違っていますか？

ID、パスワードが間違っている可能性があります。もう一度正しく入力されているかご確認ください。また入力方法は半角入力で大文字、小文字などを間違えないようご注意ください。なお、パスワードは、画面上入力していただいたものより文字数が多く表示されます。

## 7 「サーバーの種類で指定された互換性のあるネットワークプロトコルを処理できませんでした。コントロールパネルでネットワーク設定を調べてから接続し直してみてください。」というエラーが出て接続できない。

対策1 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」→「接続するプロバイダのアイコン」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

「ネットワーク」タブをクリックし、「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」で、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」にチェックがはいっていますか。

**8** ブラウザを開いたときに「～が見つかりません」「http://～/が見つかりません」などのメッセージが表示される。

**対策1** ドメインネームサーバー（DNS）のIPアドレスやドメイン名の設定が間違っていないか確認してください。

**対策2** ダイアルアップネットワークで作成したアイコンを削除し、「新しい接続」アイコンから作り直してください。

**9** 接続する時のモデムの音が大きいのので小さくしたい。または音を消したい。

**対策1** 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「電話とモデムのオプション」をダブルクリックしてください。「モデム」タブをクリックし、「OMRON ME5614CG2...」を選択し、「プロパティ」をクリックします。「詳細」タブをクリックし、「追加の初期化コマンド」欄へ次のコマンドを半角文字で入力してください。入力後「OK」で閉じます。

音を小さくする時は「L1」（エルイチ）

音を消したい時は「M0」（エムゼロ）

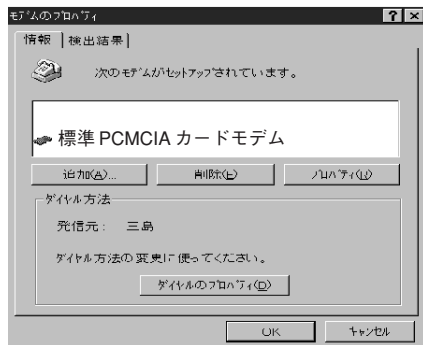
※元に戻す時は空欄にしてください。

## ◇ Windows®Me/98/95の場合

インストールできない、インターネットへ接続できない、または接続後のトラブルが発生したときは、以下をご覧ください、設定を確認してください。

**7** 「新しいハードウェア…」と表示されない。「モデム」のプロパティに「ME 5614CG3 Fax +Data Modem」が表示されず、インストールできない。

**対策1** Windows®Me/98/95のデスクトップ画面の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリックして「モデム」をダブルクリックしてください。以下の様に「標準PCMCIAカードモデム」と表示される場合は、モデムが正しくインストールされていません。「標準PCMCIAカードモデム」を削除し、再インストールしてください。



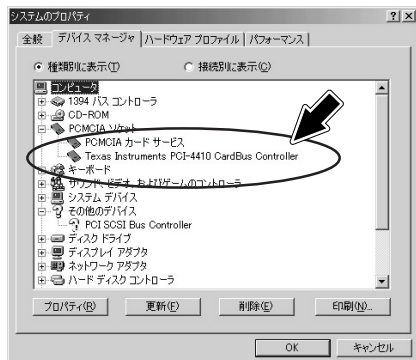
**対策2** 本PCカードモデム以外にモデムカードがインストールされていませんか？

本PCカードモデム以外にモデムカードがインストールされていると、本PCカードモデムが正しくインストールされない場合があります。すでにインストールされているモデムカードを「デバイスマネージャ」にて「使用不可」に設定、または必要に応じて削除し、本PCカードモデムを再インストールしてください。

**対策3** 本PCカードモデムをパソコンのカードスロットに正しく差し込まれているか確認してください。カードスロットが複数ある場合は、別のスロットへ差し替え、奥までしっかり挿入してください。

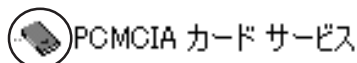
## 確認 1 PCMCIA コントローラは有効になっていますか？

- ① 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」の順でダブルクリックしてください。
- ② 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、表示されるアイコンの中から「PCMCIA ソケット」アイコンをダブルクリックしてください。「PCMCIA ソケット」アイコンの下段に「PCMCIA カードサービス」と、その他の表示（ここでは、例として「Texas Instruments PCI-4410 CardBus Controller」）が有効になっていることを確認してください。

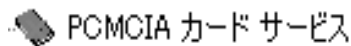


\* パソコンによっては表示が異なるものや、本PCカードモデムをしっ  
かり挿入しないと「PCMCIA カードサービス」が表示されない場合が  
あります。

## ●有効な場合の表示



## ●有効でない場合の表示



有効な場合は、「キャンセル」をクリックして確認を終了してください。  
有効でない場合、詳しい設定方法についてはご使用のパソコンメーカー  
にお問い合わせください。



## 2 詳細情報が開けない。開こうとするとエラーメッセージが出る。

- 対策1** 本PCカードモデムがパソコンのカードスロットに正しく差し込まれているか確認してください。(奥までしっかり挿入してください。)
- 対策2** パソコンの電源をOFFにし、カードスロットから1度カードを抜いて、再度挿入してしてから行ってください。カードスロットが複数ある場合は、別のスロットに差し替えてください。
- 対策3** 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」をダブルクリックしてください。  
「デバイスマネージャ」タブをクリックし、表示されるアイコンの中から「モデム」をダブルクリックしてください。アイコンの下にモデム形式が表示されます。  
アイコンの上に (X) (!) (?) の印がついている場合は正しくインストールされていません。  
(X) (!) (?) の印がついている項目を削除し、「モデム設定ファイル (INFファイル)」を削除します。その後、再インストールしてください。



### 3 接続スピードが遅い、ホームページの表示が遅い。

**対策1** 最大56Kbpの高速通信を実現させるV.90方式では、回線側の影響を受けやすくなっています。回線の品質以上の速度で接続した際に、頻繁にリトレインやフォールバック/フォールワードを起こしているのかもしれない。またその際にエラー訂正も実施されるために、非常にデータの転送速度が遅くなっている可能性があります。

#### 《Windows®Server™ 2003/XP/2000の場合》

「マイコンピュータ」→「電話とモデムのオプション」→「モデム」タグ→「OMRON ME5614U2」クリック→「プロパティ」→「詳細」タグ→「追加の初期化コマンド」に下記を入れます。

#### 《Windows®Me/98SEの場合》

「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」→「接続先アイコン」右クリック→「プロパティ」→「設定」タグ→「詳細」→「追加設定」に下記を入れます。

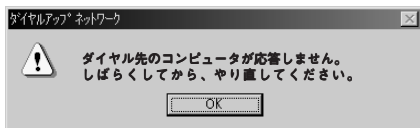
- ① 接続速度を下げます。  
ATコマンド、“+MS=V90,1,300,33600,\*\*\*\*\*”を追加してみてください。  
\*\*\*\*\*は48000, 46667, 45333, 42667を入れ替えてみます。
- ② V.90ではなくV.34で接続します。  
ATコマンド、“+MS=V34”
- ③ リトレイン、フォールバック/フォワードの設定をします。ATコマンド、“%E2”を追加します。  
変わらなければ“%E1”を入れてみてください。
- ④ MNP接続の設定をします。  
ATコマンド“¥N5%C1”を追加してみてください

#### 対策2 ノイズ対策

- ・モジュラーケーブルをできるだけ短いものにしてください。
  - ・テレビ、ラジオ、電化製品、電源コンセントからできるだけ離してみてください。
- ノイズを発生しやすいものを近づけないでください。

**対策3** PHONE 端子に電話機/FAX機を接続している場合は、外してみてください。

# 4 次の画面が表示され、接続できない。



## 確認1 電話番号の入力が間違っていますか？

電話番号が1桁抜けている、入力が間違っているなど誤りがないか確認してください。

問題ない場合は、以下の設定に変更してください。

「マイコンピュータ」(→「コントロールパネル」)→「ダイヤルアップネットワーク」の順にダブルクリックしてください。ご利用の接続アイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックしてください。

「全般 (情報)」タブ内の「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックマークを外します。

「電話番号」欄に、市外局番を含め電話番号を入力してください。

！ホテルなどでのご利用で、0発信や9発信が必要な回線の場合は、電話番号欄に、外線番号を含めて電話番号を入力してください。

例) 0発信の場合

0,,,1234567890

※「,」は、外線番号(0や9)を押してから外線に切り替わる(「ツー」音が聞こえる)まで時間をおくために付けています。

「,」1個で2秒です。電話回線の環境によってタイミングが合わず、接続できない場合があります。外線への切り替わりが遅い場合は、「,」の数を増やしてみてください。

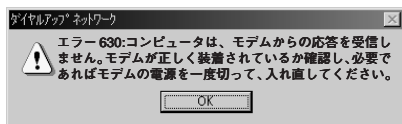
## 確認2 アクセスポイントが混雑している、工事中/廃止されていることが考えられます。

別のアクセスポイントに変更して、接続をお試しください。

**確認 3** プロバイダの通信規格とモデムがあっていない可能性があります。  
ME5614CG3は、初期の設定が「V.90」という規格の設定になっています。  
「V.34」という規格に変更してみてください。

変更方法は、P117 3…対策1-②をお試してください。

## 5 次の画面が表示され、接続できない。

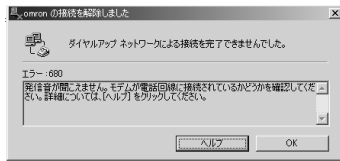


**確認 1** 詳細情報は開けますか？

確認方法はWindows®Me(P45～46ページ参照)、Windows®98(P50～51ページ参照)、Windows®95(P54～55ページ参照)をご覧ください。

開けない場合はP116を参照してください。

## 6 次の画面が表示され、接続できない。



**対策 1** モデムがパソコンと電話回線に正しく接続されているかご確認ください。

**対策 2** 他のモデムを選択してはいませんか？

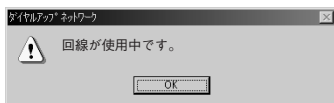
「マイコンピュータ」→(「コントロールパネル」→)「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。「ご利用の接続アイコン」を右クリックして「プロパティ」をクリックしてください。「接続の方法」で「OMRON ME5614CG3 Fax+Data Modem」になっているか確認してください。



正しい機種名が選択されているかご確認ください。

**対策3** 「マイコンピュータ」→（「コントロールパネル」→）「ダイヤルアップネットワーク」の順にダブルクリックしてください。「ご利用の接続アイコン」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。接続の方法欄の「設定」をクリックします。「接続」タブをクリックし、「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックをはずしてください。「OK」で閉じていってください。

## 7 次の画面が表示され、接続できない。



**対策1** 回線が混んでいませんか？

回線が混雑してつながらない可能性があります。しばらくしてもう一度接続してみるか、他のアクセスポイントに接続してどうかご確認ください。

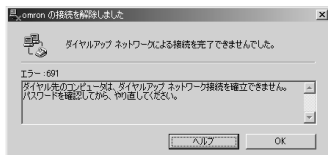
**対策2** 電話回線の種類(トーン、パルス)は間違っていないですか？

「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」(Windows®Meは「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ダイヤルアップネットワーク」)をダブルクリックしてください。「ご利用の接続アイコン」をダブルクリックして「ダイヤルのプロパティ」→「ダイヤル方法」で正しく選択されているか確認してください。

**対策3** 自動発信規制がかかっていませんか？

本製品では、話し中の場合の同じ電話番号への発信は3分間で2回以内に制限されています。最初の発信から3分待つか、別の電話番号へ発信してください。

## 8 次の画面が表示され、接続できない。



- 対策 1** パスワードは間違っていないか？  
ID、パスワードが正しく入力されているかももう一度ご確認ください。  
入力方法は半角入力で大文字・小文字など間違えないようご注意ください。

## 9 次のエラーが表示され、接続できない。 「サーバーの種類で指定された互換性のあるネットワークプロトコルを処理できませんでした。コントロールパネルでネットワーク設定を調べてから接続しなおしてみてください。」

- 対策 1** 「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」(Windows®Meは「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ダイヤルアップネットワーク」)をダブルクリックしてください。「ご利用の接続アイコン」を右クリックして「プロパティ」→「サーバーの種類」(Windows®Meは「ネットワーク」)のタブをクリックしてください。サーバーの種類の設定内容をもう一度ご確認ください。  
設定はプロバイダのマニュアルや契約書等に従って行ってください。

- 確認 1** ターミナルモードでプロバイダへ接続できますか？  
P126「モデムの動作を確認する」を参照し、実際にモデムから発信できるか確認してください。この時の電話番号はご利用アクセスポイントへダイヤルしてみてください。

## 10 ブラウザを開いた時に「～が見つかりません。」「http://～が見つかりません。」などのエラーメッセージが表示される。

- 確認 1** 「マイコンピュータ」→「ダイヤルアップネットワーク」(Windows®Meは「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ダイヤルアップネットワーク」)をダブルクリックしてください。「ご利用の接続アイコン」を右クリックして「プロパティ」→「サーバーの種類」(Windows®Meは「ネットワーク」)のタブをクリックしてください。「TCP/IP 設定」をクリックしてTCP/IP設定に間違いがないか確認してください。設定はプロバイダのマニュアルや契約書等に従って行ってください。

- 確認 2** 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」の順にダブルクリックしてください。「ネットワークの設定」画面内にTCP/IPが複数インストールされていませんか。複数インストールされていた場合は、1つだけ残して削除してください。

## 11 Windows®95 でドライバのインストールがうまくいかない。

対策1 Windows®95 のデスクトップの「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」→「未使用時にはPCカードモデムをオフにする」のチェックをはずしてください。

## 12 接続する時のモデムの音が大きいので小さくしたい。または音を消したい。

対策1 「マイコンピュータ」→（「コントロールパネル」）→「ダイヤルアップネットワーク」の順にダブルクリックしてください。「ご利用の接続アイコン」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「設定」→「接続」タブ→「詳細設定」の順にクリックしてください。「追加設定」欄へ次のコマンドを半角文字で入力してください。入力後「OK」で閉じます。

音を小さくする時は「L1」（エルイチ）、

音を消したい時は「M0」（エムゼロ）

※元に戻す時は空欄にしてください。

## ◇ Windows®CEの場合

インターネットへ接続できない、または接続後のトラブルが発生したときは、以下をご覧ください、設定を確認してください。

## ● Windows®CE2.0/2.11の場合

## 1 「ダイヤル中」のままになり接続できない

**確認 1** 「追加設定」欄にw2が入っていることを以下の手順で確認してください。

「スタート」→「プログラム」→「通信」→「リモートネットワーク」で「接続先」をALT+タップし、プロパティを開いてください。「モデム設定」→「呼び出しのオプション」タブ→「追加設定」欄にw2が入っていることを確認してください。

「切断完了」と表示され、接続できない

**対策 1** ユーザ名、パスワードが正しく入力されていることを確認・再入力してください。

## 2 「回線がビジー状態です。後でかけ直してください」と表示され、接続できない

**確認 1** アクセスポイントの電話番号が正しく入力されていることを確認してください。

## ● Windows® Powered Pocket PCの場合

## 1 インターネットに接続できない

**対策 1** 本製品が奥まで差し込まれていますか。

モバイルPCのカードスロットに本製品が装着されていることを確認してください。

**対策 2** モデムの選択はありますか。次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[設定]の順にタップします。
- ② [接続]タブ→[モデム]の順にタップします。
- ③ 設定画面が表示されますので、接続先の名前をタップします。
- ④ [モデムの選択]には“OMRON ME 5614CG3”が表示されていますか。

**対策 3** 電話番号は正しく設定されていますか。

次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[設定]の順にタップします。
- ② [接続]タブ→[モデム]の順にタップします。
- ③ 設定画面が表示されますので、接続先の名前をタップします。
- ④ [次へ]をタップします。
- ⑤ 次の項目を確認してください。

国番号欄：使用する国番号が正しく入力されていますか。

市外局番号欄：空欄

電話番号欄：アクセスポイントの電話番号が市外局番より正しく入力されていますか。(入力方法はP.71をご参照ください。)



**対策4** ユーザー名・パスワードが正しく入力されていますか。  
パスワードは“\*”マークで表示されるため入力の際は注意が必要です。  
大文字/小文字を注意して再入力してください。

**対策5** TCP/IP の設定は正しいですか。  
次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[設定]の順にタップします。
- ② [接続]タブ→[モデム]の順にタップします。
- ③ 設定画面が表示されますので、接続先の名前をタップします。
- ④ [詳細設定]をタップし、[TCP/IP]タブをタップします。
- ⑤ 詳細設定画面(TCP/IP)が表示されますので、プロバイダから指示された事項が設定されているか確認してください。

**対策6** ドメインの設定は正しいですか？  
次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[Internet Explorer]の順にタップします。
- ② [ツール]→[接続]の順にタップします。
- ③ [ドメイン]欄が空欄になっているか確認してください。

**対策7** 発信元及び回線の種類の設定が正しいですか。

次の操作で確認できます。

- ① [スタート]→[設定]の順にタップします。
- ② [接続]タブ→[モデム]の順にタップします。
- ③ [ダイヤル]タブをタップします。
- ④ 次の項目を確認してください。

発信元欄：携帯など(「インターネットに接続するための設定を行う」のP.71の4でつけた名前です。)

市外局番欄：空欄

- ⑤ [ダイヤルパターン]をタップします。  
「市内通話」、「市外通話」、「国際通話」欄に“0,”の文字がついている場合は0発信になってしまうため0を削除してください。

## 2 ホームページが見られない

**対策1** Internet Explorer を起動しても [ツール] → [接続]が選択できない場合は、[Today]より右下のアイコンで[切断]してから再度行ってください。

**対策2** DNS 設定が間違っていないか。

次の操作で確認できます。

- ① [スタート] → [設定] → [接続]タブ → [モデム]の順にタップします。
- ② お使いの接続名をタップします。
- ③ [詳細設定] → [ネームサーバーアドレス]タブをタップします。
- ④ プライマリDNS・セカンダリDNSにプロバイダから通知されたアドレスが入力されているかご確認ください。

**対策3** ホームページアドレスが正しく入力されていますか？

ホームページアドレスが正しく入力されていない可能性があります。

再度入力なおしてみてください。

**対策4** アクセスが混み合っていたり、サーバー側に問題が生じている可能性があります。他のホームページアドレスを入力し、表示できるかご確認ください。

## ◇ Macintoshの場合

インターネットへ接続できない、または接続後のトラブルが発生したときは、以下をご覧ください。設定を確認してください。

**1** ダイヤルできない

**対策1** P75の「STEP1ドライバをインストールする」を読んで、ドライバ(CCLファイル)をインストールしなおしてください。

**対策2** P76の3項ではCD-ROM内の「OTHER\_JPN」フォルダ内にある「OMRON ME5614 CG3\_ERON\_JPN」をコピーしてモデムの設定を変更してください。

**2** 速度が遅いと感じた場合

**対策1** P75の「STEP1ドライバをインストールする」を読んでドライバ(CCLファイル)をインストールしなおしてください。

**対策2** P76の3項ではCD-ROM内の「OTHER\_JPN」フォルダ内にある「OMRON ME5614 CG3\_V34\_JPN」をコピーしてモデムの設定を変更してください。

**3** 「モデムが正しく応答しません」と表示され、接続できない

**対策1** モデムがパソコンと電話回線に正しく接続されているか、ご確認ください。

**対策2** 「アップルメニュー」→「モデム」→「経由先」と「モデム」が「ME5614CG3」になっているか、ご確認ください。

**対策3** 「アップルメニュー」→「セレクト」をクリックし、「アップルトーク」を「不使用」にチェックを入れ、保存してください。

**4** 経由先、モデムに機種名が表示されない

**対策1** 「システムフォルダ」→「機能拡張」→「Modem Script」フォルダにCCLファイルがコピーされているか、ご確認ください。

**5** ダイヤルするが話中になる

**対策1** お使いの電話回線の種類(トーン、パルス)は間違っていないか。「アップルメニュー」→「コントロールパネル」→「モデム」で、「ダイヤル」が正しくチェックされているか、ご確認ください。「トーン」と「パルス」を変更してみてください。

**6** 「接続できません。利用者として認証されませんでした。」と表示され、接続ができない

**対策1** ID、パスワードが正しく入力されているか、もう一度確認し、再入力してください。

**対策2** 入力方法は、半角入力で大文字、小文字など間違えないようご注意ください。

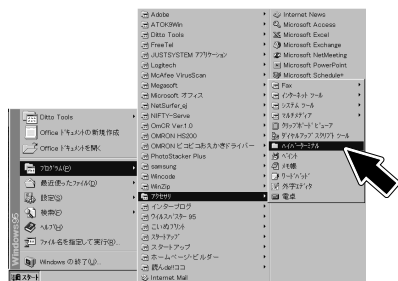
◇モデムの動作を確認する...Windows®Server™2003/XP/2000/Me/98/95の場合

本モデムとパソコンとの接続を、時報(117)に接続して確認します。確認には、Windows®Server™2003/XP/2000/Me/98/95/NT4.0に標準で装備されている「ハイパーターミナル」を使用します。長時間使用しなかった場合、または、設定を間違えたために正常に動作しなくなった場合は、モデムを初期化してください。

**1** Windows®Server™2003/XP/2000/Me/98/95の「スタート」→「プログラム」(すべてのプログラム)→「アクセサリ」→(「通信」)→「ハイパーターミナル」をクリックしてください。「HyperTerminal」画面が表示されます。

WindowsNT®4.0の方は

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「ハイパーターミナル」→「ハイパーターミナル」をクリックしてください。



**2** 「Hypertrm」アイコンをダブルクリックしてください。(この画面は出ない場合があります)



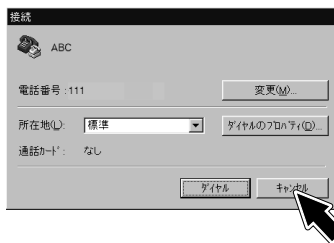
**3** 「名前(N)」欄に適当な名前(この例では「ABC」と入力し、「OK」をクリックしてください。



- 4** 「電話番号(P)」欄に適当な数字(この例では「111」)を入力し、「接続方法(N)」欄はプルダウンメニューが「ME5614CG3」をクリックしてください。入力後、「OK」をクリックしてください。

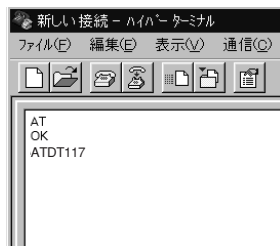


- 5** 「キャンセル」をクリックしてください。これでATコマンドの入力可能なターミナルモードに入ります。

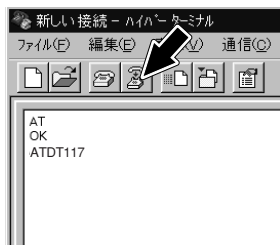


- 6** ターミナルモードで、次のようにATコマンドを入力して時報に接続します。

- ① **AT** **OK** が表示されます。  
**AT**が表示されない場合でも、**AT**と入力し、**OK**が表示されるか確認してください。  
**AT**もしくは **OK**が表示されない場合は **AT&F** を入力してください。  
**AT**および **OK** が表示されます。
- ② **ATDT117**   
 (**ATDT117** は電話回線がトーンの場合です。パルスのときは **ATDP117** と入力します。) 接続が完了すると時報が聞こえてきます。



- 7** メイン画面のツールバーの ボタンをクリックしてください。時報への接続が終了します。



**8** メニューバーの「ファイル」メニューをクリックして、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてください。

**9** 「セッションABCを保存しますか？」と聞いてきますので「いいえ」をクリックしてください。「ハイパーターミナル」が終了します。  
これで、モデムの初期化と動作テストが完了しました。



## 留意事項

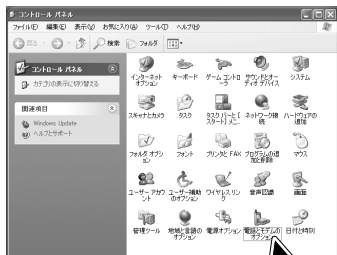
- 「BUSY」が表示されたら、別の電話番号にかけてみてください。

## ◇ドライバの削除方法

インターネットにつながらない、詳細情報が開けない場合は、「ドライバ」及び「モデム設定ファイル」を削除し、再度インストールを行ってください。

## ●Windows® Server™2003/XPの場合

- 1** 「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックしてください。「電話とモデムのオプション」をダブルクリックしてください。



- 2** 「モデム」タブをクリックし、「OMRON ME5614CG3 Fax+Data Modem」をクリックし、[削除]をクリックしてください。



- 3** 「選択したモデムをシステムから削除しますか？」と表示されますので「はい」をクリックしてください。



- 4** 「OMRON ME5614CG3 Fax+Data Modem」が削除されたことを確認してください。



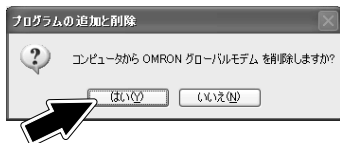
[OK]をクリックして、「コントロールパネル」に戻ってください。

5 「プログラムの追加と削除」をダブルクリックして、インストールされているプログラム一覧から「OMRON グローバルモデム」を選択して「削除」をクリックしてください。

\* この表示はない場合があります。  
手順7へお進みください。



6 「はい」をクリックしてください。



7 続けて一覧より「OMRON Country Selection」を選択して「削除」をクリックしてください。

8 「はい」をクリックしてください。

以上で削除が完了しました。  
画面右上の [X] をクリックしてデスクトップ画面に戻ってください。

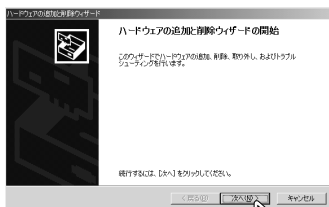
●Windows® 2000の場合

**1** 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックしてください。

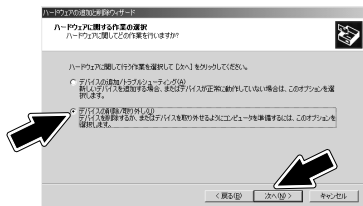
**2** 「ハードウェアの追加と削除」をダブルクリックしてください。



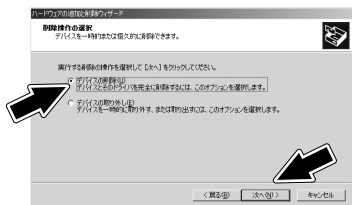
**3** 「次へ」をクリックしてください。



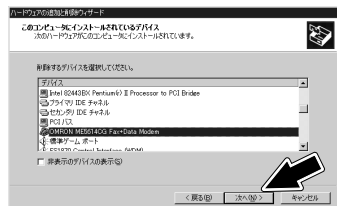
**4** 「デバイスの削除/取り外し」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



**5** 「デバイスの削除」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

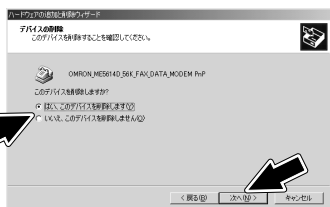


**6** 削除するデバイスで「OMRON ME 5614CG3 Fax+Data Modem」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

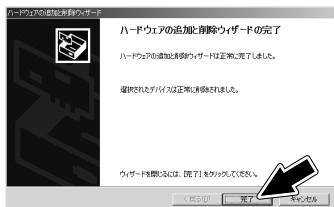




7 「はい、このデバイスを削除します」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



8 「選択されたデバイスは正常に削除されました。」と表示されます。「完了」をクリックしてください。



添付のCD-ROMをセットしてください。

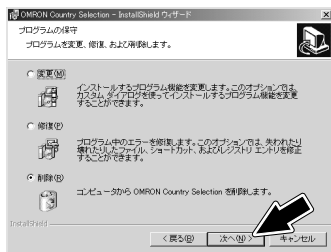
9 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックしてください。名前に「D:¥Win2000XP¥setup.exe」と入力し、「OK」をクリックしてください。

ここではDドライブをCD-ROMドライブとしていますが、お使いのパソコンによってはドライブ名が異なります。「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMのドライブをご確認ください。

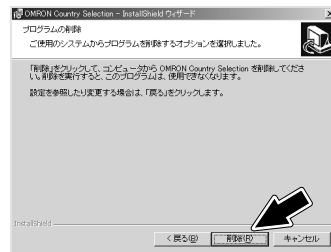


10 「次へ」をクリックしてください。

11 「削除」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



12 「削除」をクリックしてください。



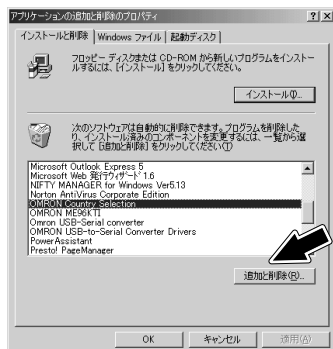
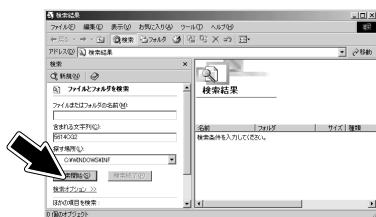
13 「完了」をクリックしてください。



## ●Windows®Me/98/95の場合

OSのバージョンにより画面が異なります。Windows®Meの画面で説明します。

- 1 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「モデム」の順にクリックし、一覧に「OMRON ME5614CG3」が表示されている場合は、選択し、削除をクリックください。削除後、閉じてデスクトップ画面に戻ります。
- 2 デスクトップ画面の「スタート」→「検索」→「ファイルやフォルダ」の順にクリックしてください。
- 3 「含まれる文字列」欄に「5614CG3」、「探す場所」欄にドライブ名(例えば「C:¥WINDOWS¥INF」)を入力し、検索開始をクリックしてください。
- 4 検索して表示されたファイルを全て削除してください。表示されたファイル名を選び、「ファイル」→「削除」をクリックして削除します。削除後、閉じてデスクトップ画面に戻ります。
- 5 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順にダブルクリックしてください。
- 6 「OMRON Country Region Selection」を選択し、「追加と削除」をクリックしてください。



- 7 以上で削除が完了しました。画面をすべて閉じてください。

## ◇ PC カードの取りはずし方法

- 1** PC カード(PCMCIA)のプロパティを開く  
PC カードを取り外すには、「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「PC カード (PCMCIA)」の順でダブルクリックします。「PC カード (PCMCIA)」画面が表示されます。



- 2** 取りはずすカードを選択して、「停止」ボタンをクリックする  
「このデバイスは安全に取りはずせます」と表示されたら、スロットからPCカードを取り出してください。

**留意事項**

アンインストール実行直後、この画面を開くと(空)表示となっています。その時は、安全に取り出せますのでスロットからカードを取り出してください。

## ●用語の解説

### 用語説明

- 全二重通信方式 ..... 電話と同じように送信側がデータを送っているときに、受信側からもデータを送信できる双方向通信方式です。パソコン通信はほとんどこの方式です。
- 通信速度 ..... 1秒間に送信するデータのビット数。
- データ長 ..... 半角1文字を表すビット数、海外のネットにアクセスするときは7ビット、漢字を扱うときには8ビットとなります。
- パリティ ..... データの送受信が正しく行われているか、1ビット付加してデータ数の合計が必ず奇数(または偶数)になるようにしてチェックします。
- ストップビット ..... 文字の区切りを表すビット数のことです。1文字の伝送データの区切りは必ずストップビットとストップビットには含まれています。従って1ビット以上で設定する必要があります。
- エコーバック ..... 送られてきたデータを、送信先にそのまま送り返すことをエコーバックといいます。端末自身、モデム、ホストコンピュータ等がエコーバック有無の設定を持ち、入力した文字を、入力した側が確認するために使用されます。一般的には、入力した文字を確認する必要がある時には(ID番号等)ホストコンピュータがエコーバックを行うため、端末、モデムのエコーバック(一般的にはローカールエコーバックと言われる)は不要です。
- モデム ..... Modulator DE Modulatorの頭文字を取ったもので変復調器。
- シリアル(パラレル)転送 .. 信号の送受信は1本の線で直列に1010と信号を送る方法と4本(または8本、16本、32本)の線で並列に1010・・・と信号を送る方法があります。直列に信号を送る方法をシリアル転送といいます。直列に送る方が転送時間が長くなりますが、伝送路が低価格で作れます。
- ハンドシェイク ..... 信号の送受信をするときに信号のレベル、幅、スタート、ストップ、自分に送られたものなのかの認識、どんな言語かの認識等が一致したとき始めて通信できます。モデムが通信を開始する直前にモデム同士でお互いに通信条件の情報交換を行い条件を合わせることをいいます。
- 同期方式 ..... 送受信間のデータの始まり、終わりのときのタイミングの取り方。
- 調歩同期 ..... 一定の長さのデータの前後にスタートビットとストップビットと呼ばれる同期のためのビットを付けて伝送する方式。
- NCU ..... Network Control Unit(網制御装置)の略。電話機と同じような機能を持ったもので、パソコンからの指示によって、電話回線にダイヤル信号を送ったり、ダイヤル信号を受けて呼び出し音を鳴らしたりします。

## 用語の解説

- AA(自動発着信) ..... パソコンからのコマンドにより、自動ダイヤルを行なう方式です。
- 通信規格 ..... モデム同士が通信するための変復調方式の規格です。
- ORGモード ..... ORIGINATEの略で一般的にモデム間の通信は発信側をORGモードとし受信側をANSモードにして行います。送信データの電圧レベル、周波数をORG, ANSに割当し送受信が一本の電話線でできるようにするための方法で、必ず相対してないと通信できません。
- ANSモード ..... ANSWERの略で、前記。
- MNP ..... Microcom Networking Protocolの頭文字を取ったもので米国のモデムメーカーのMicrocom社が提唱した、通信回線上のさまざまな原因により発生する通信エラー(文字化け等)をモデム同士で自動的に検出し、訂正するエラーフリー通信とデータ圧縮を実現するプロトコルです
- ATコマンド ..... 米国のヘイズ社が提唱したモデムの発信、着信を全てパソコンからのコマンド指示によってできるようにしたもので現在、世界で最も普及しているモデムのコマンド体系です、全てのコマンドがATで始まっているのでATコマンドと言われています。パソコンがモデムに送る命令をコマンド、命令に対してモデムからパソコンに返される文字列をリザルトコードと呼びます。
- ITU-T ..... 旧称はCCITTのことです。国際電気通信連合電気通信標準科部門のこと。国連の専門機関の1つであり、電気通信サービスの技術、運用等に関する勧告(規格)の作成を行っている。ファクシミリ、ISDN等通信全般について扱っているが、V.○○というのはモデムに関する勧告になっている。
- LAP-M ..... Link Access Procedure for Modemの略。MNPと同様、エラーフリーを実現するプロトコル。V.42で使用されます。
- GIII ..... 電話回線(アナログ式)用のFAX通信手順。国際標準となっており、A4原稿が1分程度で送られます。他にGIVというデジタル式の規格もあり、A4原稿を4秒程度で送ることができます。
- V.42bis ..... CCITTで規定されているデータ圧縮の手順です。V.42bisはLAP-Mとの併用を前提に規定されています。最大300%程度の圧縮を行うことができます。
- K56flex ..... K56flexとは送信が最大33.6Kbps、受信が最大56Kbpsでのデータ転送が可能なロックウェル社が開発した独自の通信規格です。他の56Kbpsの規格であるx2、V.90とは互換性がありません。
- V.90 ..... 送信が最大33.6Kbps、受信が最大56Kbpsでのデータ転送が可能な通信規格です。V.90の技術仕様は、1998年2月にITU-T(国際通信規格)によって採択されました。

## ■ データ通信、FAXモデムの基礎知識

### ● データ通信の基礎知識

#### フロー制御とは？

データ圧縮を使っているときのように、モデム-モデム間と端末-モデム間の処理速度が異なる場合には、処理速度の速い側が遅い側に合わせる必要があります。処理速度の遅い側では、処理が間に合わなくなりそうになると、相手に対して「一時停止」を要求します。処理に余裕ができた時点で「再開」を要求します。このようにデータの流れ(フロー)を制御するので、フロー制御と呼ばれます。

モデムでは、殆どの場合RS/CSフロー制御が使用されます。

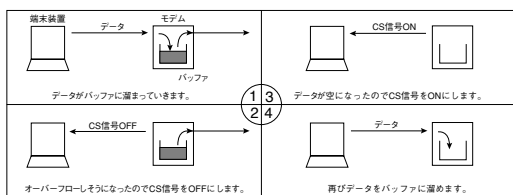
#### ● XON/XOFFフロー制御

パソコン通信ソフトでおなじみのフロー制御方式です。XON/XOFFフロー制御方式に設定されたモデムはバッファがオーバーフローしそうになったらXOFFコードを送出しバッファが空になったらXONを送出します。

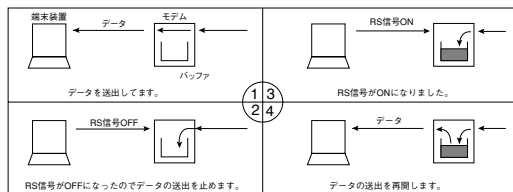
#### ● RS/CSフロー制御

XON/XOFFフロー制御方式ではバイナリーデータや漢字テキストデータを送出すると誤動作や、データ抜けが occurs します。

これらの問題を解決したフロー方式がRS/CSフロー制御方式です。RS-232Cインターフェイスの信号のRS信号とCS信号を使ってフロー制御を行う方式です。RS/CSフロー制御方式に設定したモデムはバッファがオーバーフローしそうになったらCS信号をOFFにします。そして再び、バッファが空になったらONにします。次の図を参照してください。



また、モデムはRS信号がOFFになったらデータの送出を止め、RS信号がONになったらデータの送出を再開します。次の図を参照してください。



### ● FAX モデムの基礎知識

#### クラス1、クラス2とは？

クラス1とクラス2とは、FAXモデム通信の規格であり、FAXコマンドです。データ通信では、ATコマンドを使ってモデムを操作するように、FAXモデムはFAXコマンドを使って操作します。

FAXソフトウェアが私たちの目に見えないところでFAXコマンドを使ってFAXモデムを操作しているのです。実際の操作は、FAXコマンド上の「送信」とか「受信」というような項目選択するだけです。

この二つのコマンドは互換性はありません。そのためFAXソフトを購入するときはクラス1かクラス2かご確認ください。

#### クラス1とクラス2の性能の違いは？

通信速度や画質の選択(ファイン/ノーマル)などのやりとりをFAXソフト(ソフトウェア)で行うものがクラス1、FAXモデム(ハードウェア)で行うものがクラス2です。

クラス2の方がパソコンのCPUの負荷が軽くなりますが、どちらも通信時間や画質の鮮明さなどに違いはありません。

もっとくわしく理解したいという方は、市販の雑誌等をご覧ください。

## 付 録

## ■仕様

## ● NCU 仕様

項 目	機 器 仕 様
通信回線数	1 回線
適用回線	電話回線
NCU 形式	AA
ダイヤル形式	ダイヤルパルス式 (10/20pps) プッシュ式 (トーン式)
NCU 制御コマンド	AT コマンド準拠 (データ通信用) FAX クラス 1 コマンド (EIA-578) FAX クラス 2 コマンド
回線モニタ	パソコンのスピーカによる

## ● データ仕様

項 目	機 器 仕 様
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式 (非同期式)
通信速度	送信 300/1200/2400/4800/7200/9600/12000/14400/16800/ 19200/21600/24000/26400/28800/31200/33600bps
	受信 300/1200/2400/4800/7200/9600/12000/14400/16800/19200/ 21600/24000/26400/28000/28800/29333/30667/31200/32000/ 33333/33600/34000/34667/36000/37333/38000/38667/40000/ 41333/42000/42667/44000/45333/46000/46667/48000/49333/ 50000/50667/52000/53333/ 54000/54667/56000bps
通信規格	ITU-T V.21/ V.22/ V.22bis/ V.32/ V.32bis/ V.34/V.90 BELL 212A/103、K56flex™
端末ーモデム間速度	300/1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200bps
動作モード	ORG/ANS モード
送信レベル	- 10dBm ~ - 15dBm
受信レベル	- 10dBm ~ - 43dBm
エラー訂正機能	MNP クラス 4/10 準拠、ITU-T V.42 準拠
データ圧縮機能	MNP クラス 5 準拠、ITU-T V.42bis 準拠



## ● FAX仕様

項 目	機 器 仕 様
伝送制御手順	GIII
通信方式	半二重
同期方式	調歩同期式（非同期式）
通信速度	300/ 2400/ 4800/ 7200/ 9600/ 12000/ 14400bps
通信規格	ITU-T V.21ch2/ V.27ter/ V.29/ V.17

## ● 一般仕様

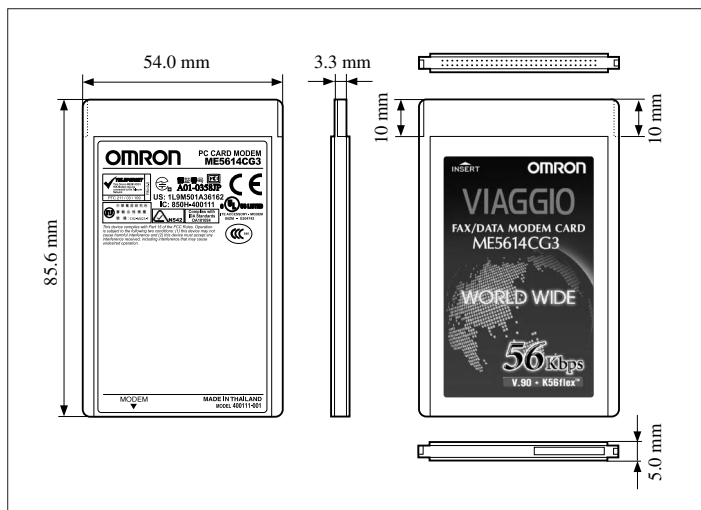
項 目	機 器 仕 様
消費電力	ME5614CG3 最大約1.0VA(5V時) 最大約0.7VA(3.3V時)
寸法／質量	幅：54mm、奥行：85.6mm、高さ：5mm、質量：40g以下
環境条件	温度：0～50℃、湿度：25～85%（結露なきこと）

## ● 技術基準適合認定に関する表示



認証番号A01-0358JP

## ■外觀寸法図



### ■修理のご案内

修理を希望される場合の依頼方法は2つあります。

1. お買い上げ店に持ち込んでいただく方法
2. 商品を当社周辺機器修理センタへ直送していただく方法  
(出張修理サービスは行っておりません。ご了承ください。)

#### <周辺機器修理センタへ直送していただく方法>

1. 修理依頼手順
  - ① 「修理依頼票」をコピーしてください。
  - ② 「修理依頼票」に必要事項をすべて記入してください。  
故障内容や発生頻度などを詳しく記入してください。
  - ③ 製造番号／発送日／発送時の送り状No.を控えとして以下に記入してください。  
修理品の問い合わせ時に必要です。
  - ④ 「修理依頼票」を修理品に同梱し、下記宛先に発送してください。  
(送料はお客様負担にてお願いします。)

製造番号	
発送日	年 月 日
発送業者	
送り状 No.	

#### 2. 修理期間

〒491-0914  
愛知県一宮市花池 4-13-11  
株式会社エイスタッフ内  
オムロン周辺機器修理センタ宛  
TEL: 03-3436-7213

おおむね1～2週間

\*故障状況によっては、1ヶ月以上要する場合がありますのでご了承ください。

#### 3. 修理代金お支払い方法(有償修理の場合)

有償での修理代金は、代金引換または銀行振込にてお支払いください。

- 代金引換 ..... ヤマト運輸株式会社のコレクトサービスを利用します。
- 先行銀行振込 ..... 振り込み確認後、修理品を発送させていただきます。

## 修理のご案内

### ■修理依頼票 ME5614CG3

- 修理依頼時、この依頼票に必要な事項をすべて記入の上、製品に同梱してお送りください。

依頼日	平成 年 月 日 ( )		
フリガナ			印
お名前			
ご住所	〒		
会社名			
部署名			
電話番号		携帯電話番号	
FAX番号			
E-Mail			
製造番号			
保証書	<input type="checkbox"/> 有り ..... 保証書を同梱ください。 <input type="checkbox"/> 無し ..... 保証期間内でも有償となります。		
故障状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 常時発生 <input type="checkbox"/> 時々発生(具体的に...例：週1回) ( )	
	症状とご要望 ※故障内容を詳しく記入してください。		
お支払い方法 (有償の場合)	<input type="checkbox"/> 代金引換 <input type="checkbox"/> 銀行振込(完了品の発送はお振込み確認後となります。)		

# お問い合わせせ票

Fax No.: 03-3436-7059

オムロンカスタマサポートセンター行

## お問い合わせせ票

\* お客様がカスタマサポートセンターにお問い合わせいただくときに本票をご利用ください。

\* ご質問の前に「お困りのときには」を一度ご参照下さい。

お名前		メールアドレス	
電話番号		ご購入日/台数	年 月 日 / 台
ご住所	〒		* 本製品の裏面に貼ってあるラベルの SERIAL NO. または製造番号を記入下さい
型式名	ME5614CG3	製造番号*	
パソコン	メーカ 名： 型 式 名：		
ご使用 OS およびバージョン <例：Windows®2000,Mac OS9 >			
プロバイダ	<input type="checkbox"/> 未加入	<input type="checkbox"/> 加入済（プロバイダ名：	）
具体的な内容<エラーメッセージなど；詳しく症状をお書きください>			

FAX/DATA CARD モデム

ME5614CG3

取扱説明書

**OMRON**

2005年11月発行

**技術的な  お問い合わせは周辺機器カスタマサポートセンタまで。**

オムロン株式会社

周辺機器カスタマサポートセンタ

TEL:  0120-77-4717 (携帯電話/PHSからもご利用いただけます)

FAX: 03-3436-7059

メールアドレス: [omron\\_support@omron.co.jp](mailto:omron_support@omron.co.jp)

受付時間: 月曜日～土曜日 9:00～17:30 (12:00～13:00を除く)

\* 祝祭日、当社の休日を除く

住所: 〒 105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10

**修理  お問い合わせは周辺機器修理センタまで。**

オムロン株式会社

周辺機器修理センタ

TEL: 03-3436-7213

FAX: 03-3436-7195

メールアドレス: [omron\\_syuri@omron.co.jp](mailto:omron_syuri@omron.co.jp)

受付時間: 月曜日～金曜日 9:30～17:00 (12:00～13:00を除く)

\* 祝祭日、当社の休日を除く

住所: 〒 491-0914 愛知県一宮市花池4-13-11

株式会社エイススタッフ内 オムロン周辺機器修理センタ

**通信販売  お問い合わせはオムロンダイレクトまで。**

オムロン株式会社

周辺機器オムロンダイレクト

TEL: 03-3436-7212

FAX: 03-3436-7195

メールアドレス: [omron\\_direct@omron.co.jp](mailto:omron_direct@omron.co.jp)

受付時間: 月曜日～金曜日 9:30～17:00 (12:00～13:00を除く)

\* 祝祭日、当社の休日を除く

住所: 〒 105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10

オムロン周辺機器商品はインターネット  でもお買い求めいただけます。

(ホームページアドレス) <http://www.omron.co.jp/ped-j/direct/index.html>

\* 無断複写・転載を禁止します。 \* 乱丁本・落丁本はお取り替えいたします。

